

# 後期研修医師 募集案内



社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院

## 病院の概要と応募方法等について

1. 施設 の 名 称	社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院	
2. 所 在 地 ・ 連 絡 先	〒710-0826 岡山県倉敷市老松町 4 丁目 3-38 TEL 086-427-1111 FAX 086-427-8001	
3. 診 療 科 数 全 医 師 数 研 修 医 数	24 科	
	70 名	
	初期 0 名 後期（含むレジデント） 0 名	
4. 外 来 ・ 入 院 者 数	1 日平均外来数 614 名	
	1 日平均入院数 199 名	
5. 研修プログラムコース名 研 修 施 設 名 研 修 期 間 研 修 員	I. 倉敷平成病院 神経内科コース 倉敷平成病院 3 年 定員 2 名	
	II. 岡山大学神経内科 後期研修プログラム（協力型） 3 年 定員 5 名	
6. 面 接 （ 試 験 日）	随時受け付け（事前に履歴書をご送付ください。）	
7. 応 募 書 類	履歴書・医師免許証写し	
8. 選 考 方 法	書類選考・面接（面接日は双方調整の上、決定します。）	
9. 書 類 送 付 先	〒710-0826 岡山県倉敷市老松町 4 丁目 3-38 倉敷平成病院 人事課 板谷	
10. 処 遇	身 分	医師職員
	給 与	年収 800 万円（その他手当等は別途支給）
	福利厚生等	宿舎 有り
11. 病 院 見 学	随時受け付けします。	
12. そ の 他	当直有り（月 2～3 回程度 50,000 円/回）	

## I. 倉敷平成病院 神経内科コース

研修プログラムコース名	倉敷平成病院 神経内科コース	
研修病院名	倉敷平成病院	
診療科	神経内科	
研修責任者名	高尾芳樹（院長・神経内科部長）	
研修期間	3年間	
指導医氏名	高尾武男（名誉理事長）	
	高尾芳樹（院長・神経内科部長）	
	涌谷陽介（認知症疾患医療センター・センター長）	
	芝崎謙作（脳卒中内科部長）	
教育体制	日本神経学会認定教育施設	
	日本脳卒中学会研修教育病院	
取得できる専門医・認定医	神経内科専門医	
	脳卒中専門医	
受け入れ人数	2名	
研修医待遇	給与（年俸、税込み）	800万円
	宿舎の有無	有り
プログラムや施設でアピールするところ	<p>◆倉敷平成病院は脳神経疾患専門病院として開設し、開業時（昭和63年）より岡山県内でも早くMRIの導入を行い、脳血管障害、虚血性疾患の急性期治療に対応できる体制を確立し、日本神経学会専門医の育成に努めています。</p> <p>また、救急医療、脳ドックセンターでの予防医療、往診等の在宅診療、老健、特養、グループホーム、ショートステイ、ケアハウス、サ高住、有料老人ホーム等の施設など『救急から在宅まであらゆる医療』に関わっています。</p> <p>所在地は倉敷市中心部に位置し、JR岡山駅より山陽本線・伯備線でJR倉敷駅まで17分、JR倉敷駅から徒歩約13分で来院できます。</p>	

## 年次別研修内容

## 1年次（卒後3年目）

I.臨床神経・指導医と病棟・救急外来を担当。

## II.神経放射線研修

第3四半期より週2日、MRI・CTを中心に読影を研修。

## III.神経生理検査、超音波検査研修

第4四半期より週2日、神経生理検査（脳波・誘発脳波・筋電図）、頸部エコー検査について、検査手技・所見を研修。

## 2年次（卒後4年目）

I.臨床神経・病棟主治医・外来再来診を担当。

II.脳神経外科にて3ヶ月研修。

III.神経生理（脳波・誘発脳波・筋電図）または頸部エコー担当を3ヶ月毎にローテーション。

希望者は3～6ヶ月間週1日、川崎医科大学神経内科電気生理グループへ研修可能。

IV.本人の希望により在宅診療の担当もすることができる。

プライマリケアの実践も可能。

## 3年次（卒後5年目）

I.臨床神経・病棟主治医・外来初診・再来診・他科からの紹介患者を担当。

II.第1～第2四半期はチーフレジデントとして指導医を努める。

<p>研修到達目標</p>	<p style="text-align: center;"><b>《 診断に関する研修目標 》</b></p> <p>I.神経学的理学所見を確実にとり、高位診断、横位診断等神経解剖学のおよび病変性質の診断ができる。</p> <p>II.頭蓋骨、脊椎単純 X 線写真、頭部 CT/MRI、脊椎 CT/MRI、血管造影等画像診断ができる。</p> <p>III.電気生理検査所見の判断ができる。</p> <p>IV.鑑別診断を的確に挙げられ、確率順に述べるができる。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>《 患者管理に関する研修目標 》</b></p> <p>I.ギランバレー症候群、多発性硬化症、重症筋無力症、神経中毒等緊急治療を必要とすることの多い疾患群の病態把握と管理。</p> <p>II.脳血管障害等の病態把握と管理。</p> <p>III.血液疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患等に伴う神経内科的病態の把握と管理。</p> <p>IV.変性疾患、遺伝性疾患の病態把握と管理。</p>